

開館20周年記念「図書館まつり」

大山町立図書館

本年度、大山町立図書館が開館20周年を迎えたことを記念して11月6日(木)から9日(日)の4日間、中山生活想像館で「図書館まつり」を行いました。

11月7日(金)から9日(日)の3日間は、日本手づくり絵本ネットワーク代表青木珠代さんとの共催で「世界にたった一つの手づくり絵本展」を開催し、全国から集まった465点の心のこもった作品の数々に、来場された方も熱心に見入っていました。なかにはどの作品もしつかり見たいと、3日間連続でお越しくださいました方もありました。



▲手づくり絵本展を楽しむ子どもたち



▲酒井さんの講演会

また、「大山町に伝わる民話」の講演会では、山陰民俗学会会長の酒井董美さんが、高橋の片桐利喜さんが語り部として伝えられた民話を紹介し、民話を後世に語り継ぎ残していくことの大切さを話されました。

このほかにも「読み語りボランティア麦の会」のお話会、図書館職員による「えほんをつくってあそぼう」、「みんなで一緒にわらべうた」、図書館本館会場での「夜の図書館おぼけ話会」や「峰地光重展」を開催し、4日間延べ524名の来場者でにぎわいました。

熱気あふれる館内

片木杯 第26回青少年育成剣道大会

「青少年育成剣道大会」が12月7日(日)に大山中学校体育館で行われました。

大会は、町内企業の(株)片木アルミニウム製作所(片木威社長)からの寄付により大会が運営されています。県西部から約180人の小中学生が参加し、日頃の鍛錬の成果を競いました。

各部門の優勝・準優勝・3位の入賞者には、オリジナルで作成された金・銀・銅のアルミ加工の盾がそれぞれ贈られました。

また、この大会ならではの「社長賞」も小・中学生の男女にそれぞれ贈られ、今後の精進を誓いました。



▶片木社長と社長賞受賞の皆さん

大山宿泊体験塾

大山西小学校通学合宿

11月24日(月)～29日(土)までの6日間、大山西小学校4～6年生の児童41人が大山西青年の家で通学合宿を行いました。この事業は本年度で15回目となり、異学年で協力しながら、縦割りグループで生活体験をします。

1週間家庭を離れ、洗濯や掃除など身の回りのことをみんなで行い、協力して行い、

大山西青年の家から学校に通いました。自ら考え行動するよい機会となり、通学合宿の目標に掲げた「時間・ルールを守る」「一人もさみしい思いをしないように協力する」をみんな達成することができました。



▶心を落ち着かせて「写仏」体験